



とらいあんぐる



2017 年 6 月

一音会ミュージックスクール発行

「メソッド」

先号では、「はずれクジ」という話を
させていただきました。

同じ子どもでも、手がかかる子、手
がかからない子、いろいろです。

かかわる大人の時間とエネルギーを、
ブラックホールのように、無限に吸い
つくす子どももいます。

私の娘がそうでした。めったにない
「大はずれ」だったと、今も思ってい
ます。

子どもがどんなに手がかかるタイプ
であっても、親だけは見捨てること
ができません。

どんなに忙しい親であろうとも、手
をかけざるをえません。

問答無用の“修行”がはじまってし
まうのです。

「子どもは、親に何かを授けにきた
人である」というのが、私の母の持論
でした。

そして、「その親にもっとも必要なも
のを授ける子どもがやってくる」とい
うことも、信じていました。



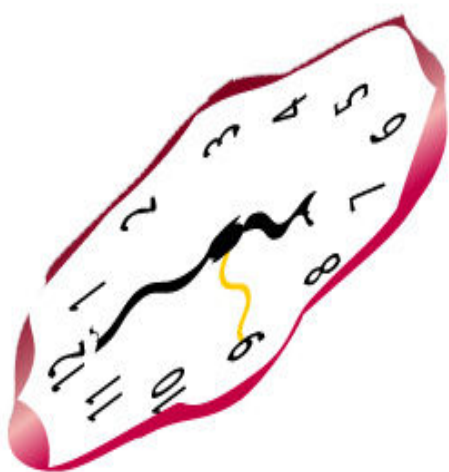
私は子どもを持つまで、効率優先な人間でした。

時間をムダにせず、できるだけ短時間で効率よく片付けることを良しとしていました。綿密にスケジュールを立て、それをかたく守って生活するような人間だったのです。

キョウコが生まれ、私の生活は一変しました。

「予定」なんていうものは、何ひとつ、立てられなくなりました。毎日毎日、一見、ムダに思える大量の時間が、流れていきました。

そんな果てしなく時間を必要とするキョウコが、他ならぬ私のもとにやってきたことについては、やはり運命を感じてしまいます。



私の後半生、当時の“修行”が生きていると感じることが、確かにあるのです。

母は当時、「キョウちゃんのおかげで、アヤコは少し人間の“格”が上がるかもしれないわよ」と、おもしろそうに言っていました。

当時の私は「キョウコのせいで！」という思考でしたので、「キョウコのおかげで」とは、なかなか思えなかったものです。

今なら、母のいていたことがよく分かります。

当時、私は母に、こんなふうにあざねたことがありました。

「ちなみに私は、お母さんに何かを授けたの？」

母は、いったん言葉を切り、真顔になりました。

母の答えは、思いがけないものでした。

「メソードよ」

母が、「江口メソード」の最初の教本を出版した時、私は小学校1年生でした。

それから、母は精力的に「江口メソ

ード」を開発していき、現在にいたるまでに教本・教材 87 点、書籍 12 冊に及ぶ「江口メソッド」を生み出し続けました。

母が「江口メソッド」の基礎を作った時期と、母が幼い私を育てていた時期は、実は重なっています。

母は、いいました。

「メソッドを作る時、一番、参考になったのはアヤコだったわ。とにかく、いちいちアホなので、いっぱいいっぱい考えることができたわ！」

母の楽しそうな述懐がはじまります。

「アヤコに教えるでしょ。そうすると、びっくりするぐらい、できないのよね。とにかく、なんで？っていうぐらい、できないの。どうしてこの子は、こんなにできないんだろう？って考えるでしょう？ それでね、じゃあ、今度はこう教えてみたらどうだろう？って、思いつくの。それで試すでしょ。そうするとね、またできないの。お母さんは、また考えるの。それこそ夜も眠れないくらい、夢中で考えるの。いろいろな教え方を考えつくの。それを 1 つ 1 つ、試してみるのよ。一生懸命

考えたのに、全然、ダメだったことも多かったわ。でも、アヤコがいつまでもできなかつたおかげで、いろんなことを試せたわ。これが一番、良い教え方だ！って確信できるまで、お母さんは何度も何度も試すことができたのよ。それもこれも、アヤコがいつまでも、できない子だったからだわ！」

私は、どんな顔をしていたらよいか、分からなくて、この上なく楽しそうな母の顔を、ただ見つめていました。

この人は、なんて楽しそうな顔をするのだろうと、感心してしまうほど、母は楽しそうでした。

「大きな知恵を授かったのは、ほとんどがアヤコからだ。他の生徒さんは、正直、優秀すぎて、アヤコほど勉強にならなかつたわ。他の生徒さんは、お母さんが試行錯誤する前に、なんとなくできるようになってしまうのよ。次の週、こう教えてやろう！と待ちかまえていても、試そうとする前に、できるようになっていたことが多かったの。その点、アヤコは本当に素晴らしかった。いくらでも試行錯誤ができたわ！」

ほめられている気がしません。

「そしてね、アヤコでもできるようになるような教え方だったら、世界中のどんな子でもできるようになる、って、お母さん、自信が持てたの！ アヤコが、めったにいないほどの“できそこない”だったおかげで、お母さんは最高のメソッドを得ることができたのよ！」

母は、なかばわざと、私をけなしていました。だから私は、母には怒ったような顔を見せていました。

もちろん母も、私が本当に怒っているわけではないことを、よく分かっています。からかうつもりで、わざと大げさにいつているのです。

表情とはうらはらに、その時、私の心の中は喜びでいっぱいでした。

もし私が本当に「江口メソッド」にそんな形で貢献できていたのなら、こんなに光栄なことはない、と思いました。

そしてその時、手がかかる子どもとつきあっていくことが、少し楽しみに思えてきたのでした。

私の二人の「はずれクジ」は、今では二人とも高校生です。ずいぶん大きくなりましたが、今も、はずれっぱなし、です。

私が経験してこなかった苦勞を、飽きることなく、せっせと見せ続け、巻き込んでくれます。

親孝行だと思っしかありません。

案外、本当に親孝行なのだと思います。

(江口 彩子)



◆「ピアノ発表会」が近づいてきました

すでに「発表会のお知らせ」をお配りしています。まだお持ちでない方は、ピアノの担当の先生か、ショパンはうす受付に、ご請求ください。

今年のピアノ発表会は、下記の通りです。

8月4日（金）・5日（土）・6日（日）・7日（月）

成増アクトホール

東京都板橋区成増3-11-3

東武東上線「成増駅」下車2分

東京メトロ有楽町線/地下鉄成増駅下車6分



「アクトホール」は、一昨年、ピアノ発表会で利用した会場であり、一音会のピアノ発表会でもっとも多く利用している会場です。広さと駅からのアクセスの良さで、好評いただいているホールです。

現在、お配りしている「発表会のお知らせ」の中に、「ピアノ発表会・申込み用紙」が入っていますので、ご記入ください。レッスンの際に、「ショパンはうす」受付でご提出いただくか、担当の先生にご提出ください。本部にFAXしていただ

くのもけっこうです（本部FAX番号：03-3957-8864）。

ご提出の〆切は、6月25日（日）です。

この用紙は、お手数ですが、生徒さん1人につき、1枚のご提出をお願いいたします。また、ご参加になれない方にも提出していただきます。過去に、申込み用紙をお出しになっていない生徒さんを不参加としていたところ、用紙を提出し忘れていただけだった、ということが多くありました。そういった事態を防ぐために、不参加の場合にも、念のため、その旨の意思表示をいただきたいと思っています。

申込み用紙には、参加希望日もお書きください。できるだけ、ご希望にそうようにいたしますが、例年、土曜・日曜の第1部、第2部にご希望者が偏ることが多く、その際には、個別にご相談の電話をおかけしております。どうぞご理解ください。

お申込みいただいた後で、日程的なご都合が変わった場合は、できるだけ早くご連絡ください。その他のご不明な点は、本部（03-5966-7711・担当：谷口）までおたずねください。

◆リハーサル・トライをおこないます

「ピアノ発表会」当日は、時間の関係で、リハーサルの時間をご用意することができません。また、当日のリハーサルよりも、少し前にリハーサルをおこなった方が「もっとこうの方が良かった」という、リハーサル時の反省を本番に生かしやすいということを、私どもは経験から確信しています。

そのために、「リハーサル・トライ」をおこなっています。「リハーサル・トライ」とは、文字通り、リハーサルです。あわせて、人前で演奏する経験を積む、グランドピアノで演奏してみる、普段のレッスン以外の先生に見てもらい、等といった目的も持っています。どれも、演奏にみがきをかけるために、大切なことばかりです。

くわしくは、「発表会のお知らせ」にはさみこんであるプリントをごらんください。ピアノ発表会参加予定の生徒さんは、無料でお受けいただくことができます。

イメージとしては、「ミニ発表会」です。ご希望いただいた時間帯の生徒さんの中で、発表していただきます。

グループには、経験豊かな先生がつきそい、進行にあたります。もし演奏に改善点があった場合には、担当の先生に連絡をします。生徒さんご本人に直接伝えて、

混乱させることはありませんので、ご安心ください。

本番のような気持ちで、事前に一度、演奏をしておく、やはり違うものです。それは、これまでに「リハーサル・トライ」を活用された多くの方がおっしゃることです。

すべての生徒さんが、本番で、持てる力を存分に発揮することができますよう、私どもスタッフも、全力でお手伝いいたします。

「リハーサル・トライ」の場所は、基本的には「ヘンデルはうす」103か204のお部屋を予定しています。

各曜日に、「リハーサル・トライ」の時間帯をもうけますので、ご都合の良い日時をお選びになって、お申込みください（発表会のお申し込みとは別に、お申し込みいただく必要があります）。

お申込み〆切は6月25日（日）です。ご不明な点は、本部まで直接、おたずねください（03-5966-7711・担当：伊藤、矢島）。

◆ひよこちゃんリハーサルにご参加ください

ピアノをまだおはじめになっていない生徒さんには、リトミック発表「ひよこちゃんのたねまき」にご出演いただきます。

ひよこちゃんにご出演される生徒さんのリハーサルは、すでにご案内していますように、2日、予定しています。お忙しい中、また暑い時期ではありますが、どちらか、あるいは両方、ご都合をつけておこしてください。

「リハーサル・トライ」同様、「リハーサル」は無料です。

7月17日（月・祝） 13：00～14：00

7月30日（日） 11：00～12：00

場 所 ひびきホール（豊島区長崎5-8-12）

実は今年度、昨年までと比べ、リハーサルの日程を各日2週間ほど、遅らせています。「本番と日はなれていると、ピンとこない」というご意見をいただき、日程をできるかぎり、本番に近づけてみました。実りあるリハーサルになるのではな

いかと、期待しています。

特に舞台上がることがはじめての生徒さんは、本番で、びっくりして泣いてしまい、練習してきたことが発揮できないことがあります。リハーサルで、慣れておくことをおすすめします。ご家族の皆さまのご協力を、よろしくお願いいたします。

◆発表会費の引き落としについて

発表会費は、7月27日(木)の8月分お月謝引き落とし時に、お月謝と一緒に、お引き落としさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◆時節のご挨拶など ご遠慮いたします

入会時にも「ガイドブック」にてお知らせしておりますが、一音会では、お中元、お歳暮、発表会のお礼などを、スクール、先生個人に関わらず、一切ご遠慮させていただいております。どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。



*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。(今年度より、月曜日の夜に行なっております。よろしくお願いいたします)

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。